

小学校長期宿泊体験活動 推進プロジェクト

5年間の取組と成果

～モデル校の事例をもとに～



岡山県教育庁義務教育課

もくじ

はじめに	・・・P1
1 事業概要	・・・P2
2 モデルプログラム	
○ 困難克服型・海モデル	・・・P3
○ 困難克服型・山モデル	・・・P4
○ ふるさと探究型モデル	・・・P5
○ 海的生活体験型モデル	・・・P6
○ 自立生活型モデル	・・・P7
3 事業まとめ	
(1) 事前事後のアンケートから	・・・P8
(2) 保護者、学校・教員の声から	・・・P9
4 実施校一覧	・・・P10

はじめに

児童生徒の豊かな心の育成のためには、自然体験活動をはじめとした様々な体験活動を行い、自立心や主体性を育み、規範意識や人間関係構築力、問題解決能力等を高めることが重要であり、「一般的に宿泊を伴う体験活動においては3泊4日以上での体験日数を確保することが望ましく、これを宿泊体験活動のモデル的な期間とすべき」との研究結果（平成21年度文部科学省調査）が示されています。

一方で、現在、小学校では1泊2日の宿泊体験活動が中心であることから、県教育委員会では体験日数を3泊4日へと延長する取組を支援することで、小学校における3泊4日の宿泊体験活動による充実した活動の普及を図ることを目的として、小学校長期宿泊体験活動推進プロジェクトを実施してきました。

このリーフレットは、本推進プロジェクトにおける平成26～30年度の5年間の成果及びモデルプログラムをまとめ、小学校長期宿泊体験活動の普及を図るために作成したものです。

市町村教育委員会及び小学校におかれましては、このリーフレットを活用することで、長期宿泊体験活動等をはじめとする様々な体験活動への理解を深め、充実した展開を推進されることを期待します。

平成31年2月 岡山県教育庁義務教育課

1 小学校長期宿泊体験活動推進プロジェクト 事業概要

児童たちの豊かな心の育成のためには、自然体験活動をはじめとする様々な体験活動を通じて、自立心や主体性を育み、規範意識、人間関係構築力、問題解決能力等を高めることが重要である。

<3泊4日宿泊体験活動>

【活動内容】

- ・第4～6学年に、子どもたちの自立心や主体性、規範意識、人間関係構築力等の育成を図るため、自然体験や交流体験など、様々な活動を実施

【活動場所】

- ・国立吉備青少年自然の家、岡山県渋川青年の家、倉敷市少年自然の家、カリヨンハウス、津黒高原荘 など

【報告等】

- ・活動後、校内等において児童による成果発表会等を実施
- ・児童、教職員等を対象に体験活動前後の児童生徒の意識の変容についてアンケート調査を実施し、成果や課題を報告
- ・モデル校のカリキュラムや成果や課題を集約し分析

<長期宿泊体験プロジェクト指導者研修>

- ・小学校の宿泊体験の長期化を目指し、教職員が施設を活用した宿泊体験を経験することにより、意義や効果を理解するとともに、指導力の向上を図った。

<市町村校長会等での事業説明>

- ・長期宿泊体験活動の普及に向け、各市町村の校長会等において事業説明を行い、国の事業の活用も併せた事業拡大を図った。

2 小学校長期宿泊体験活動推進プロジェクト モデルプログラム

(1) 困難克服型・海モデル

～無人島を目指してチャレンジするカッター訓練を2回設定～

<ねらい>

- ・ 困難や課題を友達と協力して乗り越え、強くたくましい心を育てる。
- ・ 集団生活のきまりを守り、友達と協力して進んで行動する。

場 所	岡山県渋川青年の家
1 日 目	カッター訓練 (導入編) 海洋博物館見学
2 日 目	地引き網 絵日記 いかだ遊び 海藻のしおり作り※
3 日 目	カッター訓練 (カッターで島まで冒険) ウミホテル観察
4 日 目	ロープ結び



☆☆☆活動の成果☆☆☆

カッター訓練を1日目と3日目に行うことで、児童が自らの成長に気付くとともに、みんなで協力すれば困難を乗り越え、達成感を味わうことができること知り、大きな自信へとつなげることができた。

※海藻のしおり作り・・・宿泊施設周辺で採取した海藻を使ったしおりの作成

(2) 困難克服型・山モデル

～20kmウォークで友達同士が助け合える場を設定～

<ねらい>

- ・様々な体験活動を通して自立心や主体性を育み、人間関係構築力、忍耐力、問題解決能力を高める。

場 所	国立吉備青少年自然の家
1日目	めあて作り 野外炊事 ナイトハイク※
2日目	カッター オリエンテーリング 野外炊事
3日目	大平山への20kmロングウォーク キャンプファイヤー
4日目	クラフト作り



☆☆☆活動の成果☆☆☆

友達と同じ時間（楽しい活動や困難な活動など）を共有することにより、困っている友達への声かけが多くなるなど、友達に優しく関われるようになった。特に20kmウォークでは、困難を克服した体験が自信となって、「がんばればできる」という気持ちをもてるようになり、忍耐力がついてきている。その他、集団で活動する良さや楽しさを知り、学校での集団活動において団結力が高まった。

※ナイトハイク・・・夜間に山道や湖周辺を散策し、豊かな自然を感じる自然体験活動

(3) ふるさと探究型モデル

～今まで知らなかった地域の良さを探究する活動を設定～

<ねらい>

- ・自然や、そこで生活する人々のすばらしさに気付かせ、郷土愛を育む。
- ・問題解決能力を高め、粘り強さを養う。
- ・コミュニケーション能力を伸ばし、集団としての質を高める。

場 所	津黒高原荘
1 日 目	農業・酪農体験
2 日 目	ネイチャーゲーム※ ピザ、バウムクーヘン作り 星の観察
3 日 目	山乗溪谷リバートレッキング※
4 日 目	蒜山の歴史学習 古墳の見学 珪藻土（けいそうど）採掘現場・地層見学



☆☆☆活動の成果☆☆☆

地域の人々と接する中で、人の温かさを感じさせることができた。お礼の手紙を書いたり、まとめをしたりすることで、人に感謝する気持ちが大きくなっていった。また、友達と協力して問題を解決しようとする児童の姿や、最後まで粘り強く取り組む姿が見られ、やり遂げたことへの達成感を味わわせることができた。

※ネイチャーゲーム・・・自然に関する特別な知識の有無を問わず、豊かな自然の持つ様々な表情を楽しむ自然体験活動

※山乗溪谷リバートレッキング・・・大小20～30の滝が連なる山あいの溪谷沿いを歩く活動

(4) 海的生活体験型モデル

～山間地域の児童が海を満喫する活動を多く設定～

<ねらい>

- ・ 普段の生活では体験できない活動を通して自己を振り返りながら、主体的に課題を追求するとともに、仲間とのつながりを深める。

場 所	牛窓研修センターカリオンハウス
1 日 目	めあて作り いかだ乗り 天体観測 振り返り
2 日 目	めあて作り 磯釣り 魚拓作り アウトドアクッキング ナイトウォーキング 振り返り
3 日 目	めあて作り いかだ乗り 浜辺のミニ体験 キャンプファイヤー 振り返り
4 日 目	海のクラフト



☆☆☆宿泊体験活動の成果☆☆☆

どの活動も児童にとって初めての体験ばかりであった。磯釣りでは、えさを付けること、釣れるポイントを探すことなどを通して、子ども同士の関わりが自然に生まれ、協力することができた。また、日頃の学校生活では見られない友達の一面を感じることもできた。特に、ビーイング※を使うことで、児童の目標設定、活動の振り返りなどがスムーズにでき、仲間とのつながりを深めていくことができた。さらに、いかだ乗りでは、協力して目的地にたどり着いたときの達成感は大変大きく、その後の学校生活での振り返りに大いに役立っている。

※ビーイング・・・グループ全員を大切にするためのルール作りの活動

「自分が安心していられるグループにするために自分にはこんなことができる」ということを話し合いながら模造紙等へ書き出していく

(5) 自立生活型モデル

～自分たちで考え、自分たちで行動する時間と場所を設定～

<ねらい>

- ・不便な生活や様々な失敗体験を通じて、自立心や主体性を育み、規範意識や、人間関係構築力、問題解決能力等を高める。

場 所	倉敷市少年自然の家
1 日 目	食器作り 住まい作り 野外炊事①
2 日 目	野外炊事② ウォークラリー 野外炊事③
3 日 目	野外炊事④ 暗夜行路 野外炊事⑤ 野外炊事⑥ キャンドルサービス
4 日 目	野外炊事⑦ 後片付け



☆☆☆活動の成果☆☆☆

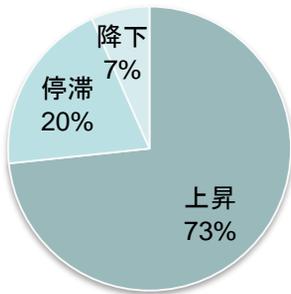
食事はすべて自分たちで準備するという状況の中で、最初は上手くできず、時間がかかり、全くゆとりのなかったキャンプ生活も、日を追うごとに生活にゆとりができていった。4日分の食材を計画的に使うという条件の中で、班で話し合い、協力しながら活動を進め、「協力すればできる」という達成感を味わうことができた。事後の学校生活でも、自分たちで声を掛け合って行動する姿が見られるようになっている。

3 事業の成果

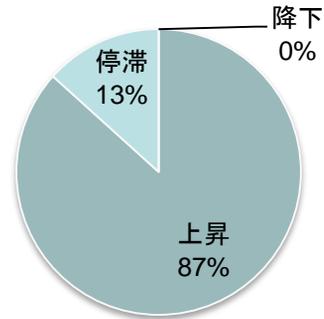
(1) 事前事後のアンケートから

1 児童アンケート(事前・事後実施)

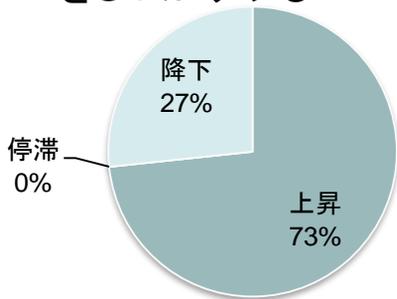
○ 自分から進んで何でもする



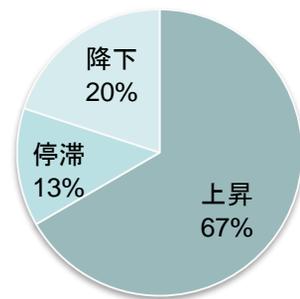
○ 自分勝手なわがままを言わない



○ 自分に割り当てられた仕事をしっかりやる



○ 誰とでも仲良くできる



2 保護者アンケート

○ 「体験活動を通して子どもが成長した。」など
肯定的解答率 79% (保護者136人中108人)

○ なぜ、そのように感じたのか？
(肯定的回答をした保護者が感じた理由、複数回答)

- ・ やり遂げたことにより自信がついた。 57%
- ・ だれとでも仲よくできるようになった。 39%
- ・ 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやるようになった。 36%

3 事業の成果

(2) 保護者、学校・教員の声から

保護者の声

今まで朝起こされていたのが自分で起きてくるようになりました。朝の身支度が以前よりテキパキとしています。

夜の寝るまでのスケジュールも、言わなくても自主的に行動しています。



子どもたちは、やればできると自信につながったように思います。道で会った人にも自分からあいさつができるようになり、とても驚いています。



何でも意欲的に打ち込めるようになりました。自信や意欲、新しいことを学ぶ喜びが出てきているように思います。



3泊4日の研修は親としても心配していましたが、帰ってくると、「もっといて、何泊もしたかった」と親から離れてもしっかりと活動して自信がついている様子です。

学校・教員の声

研修を終えて、男女の関わりやグループでの活動がスムーズにできるようになりました。集団の中で自分から声をかける児童も出てきており、リーダーとしての意識の芽生えの兆しがあります。



活動の振り返りで、日常で感じられないものの大切さなどを子どもたちと一緒に考えることができました。



多くの活動が学級経営にも生かせるので、毎日の指導に反映させたい。



体験する様子を見ることで、時間の目安や子どもたちの困り感が分かり、声掛けのタイミングを工夫することができました。

4 実施校一覧（平成26～30年度）

倉敷市立連島東小学校	(H29～30 岡山県渋川青年の家)
倉敷市立味野小学校	(H27 倉敷市少年自然の家)
倉敷市立琴浦西小学校	(H27～28 倉敷市少年自然の家、H29 国立吉備青少年自然の家)
津山市立喬松小学校	(H26 牛窓研修センターカリヨンハウス)
津山市立中正小学校	(H27 牛窓研修センターカリヨンハウス)
津山市立誠道小学校	(H27 牛窓研修センターカリヨンハウス)
津山市立秀実小学校	(H26 牛窓研修センターカリヨンハウス)
玉野市立日比小学校	(H28 国立吉備青少年自然の家、岡山県渋川青年の家、 H29 岡山県渋川青年の家、倉敷市少年自然の家)
笠岡市立真鍋小学校	(H30 津黒高原荘)
井原市立荏原小学校	(H27～28 岡山県渋川青年の家)
新見市立高尾小学校	(H29～30 岡山県渋川青年の家)
新見市立刑部小学校	(H28 島根県立青少年の家サン・レイク)
備前市立神根小学校	(H27 閑谷学校、牛窓研修センターカリヨンハウス)
瀬戸内市立美和小学校	(H27 岡山県渋川青年の家)
瀬戸内市立国府小学校	(H27 岡山県渋川青年の家)
瀬戸内市立行幸小学校	(H26 岡山県渋川青年の家、国立吉備青少年自然の家、 H27 岡山県渋川青年の家)
赤磐市立山陽西小学校	(H26～28 岡山県渋川青年の家)
赤磐市立山陽東小学校	(H28～30 岡山県渋川青年の家)
赤磐市立城南小学校	(H29～30 岡山県渋川青年の家)
赤磐市立仁美小学校	(H29～30 岡山県渋川青年の家)
真庭市立月田小学校	(H28～30 津黒高原荘)
真庭市立富原小学校	(H27～30 津黒高原荘)
美作市立勝田小学校	(H26 岡山県渋川青年の家、トムソーヤ冒険村)
美作市立英田小学校	(H30 岡山県渋川青年の家)
浅口市立六条院小学校	(H30 国立吉備青少年自然の家)
和気町立佐伯小学校	(H26～30 牛窓研修センターカリヨンハウス)
和気町立本荘小学校	(H27～30 岡山県渋川青年の家)
和気町立山田小学校	(H26～28 牛窓研修センターカリヨンハウス)
早島町立早島小学校	(H26～28 国立吉備青少年自然の家)
矢掛町立川面小学校	(H28～30 倉敷市少年自然の家)
鏡野町立南小学校	(H28 岡山県渋川青年の家)
吉備中央町立豊野小学校	(H30 岡山県渋川青年の家)
吉備中央町立吉備高原小学校	(H28 国立吉備青少年自然の家)